

まんすりー 全旅連情報

全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-5-5 全国旅館会館4F

TEL 03-3263-4428 / FAX 03-3263-9789

発行日: 令和4年5月1日 発行人: 市川 正 印刷: 山陽印刷株式会社

5月号 2022

Vol.308



「宿ネット」 <http://www.yadonet.ne.jp/>

全旅連青年部第54回定時総会開催	1	県民割支援(地域観光事業支援)の期間延長	5
全旅連女性経営者の会(JKK)総会開催	3	省庁便り	5
第25回「人に優しい地域の宿づくり賞」第1回選考委員会	4	全旅連会議開催/経営ワンポイントアドバイス	7
全旅連青年部が学観連とサポーター協定に調印		全旅連協定商社会名簿	8

全旅連青年部第54回定時総会開催 「観光を日本の基幹産業に～Keep Trying～」

「復興の狼煙(のろし)を上げよう」と星部長 「全国大会」「宿フェス」の開催に力を込める



力強くあいさつする星青年部長

全旅連青年部(星永重部長)は4月13日、東京・千代田区の全国町村会館で令和4年度第54回定時総会を開き、10月に開催される青年部全国大会や来年2月に実施する宿フェスの開催に意欲を見せた。

冒頭、星部長は「青年部はこれからの1年は復興の狼煙(のろし)を上げる気概をもってさらに力を入れて前進していく覚悟でいる。これには、青年部の8委員会の総力を結集して、これまでの問題や課題の解決を図り、そして当業界が見出せる新しい価値の創造に向けて全力を傾注していく所存だ」と述べ、理解と協力を強く望んだ。また、星部長は「今年度は青年部として今年10月には北海道札幌の地にて『第26回全旅連青年部全国大会』、そして来年2月には前期やむなく開催がなし得なかった全国の若手経営者と若女将が中心となり地域と旅の魅力を最大限に発信する新たな事業『宿フェス』を開催し、業界内外に我々宿泊業が適応し生まれた変化・魅力を最大限に発信していく考えだ」と述べ、改めて支援と協力を求めた。

来賓祝辞では、「団体組織は数多いが、全旅連ほど青年部の力の強いところはない」と述べ、青年部の強固な結束力に敬意を示した細田会長、そして、「共に力を合わせて揺るぎない観光業界を創り上げよう」と呼び掛ける岩屋毅会長代行兼幹事長、武井俊輔、佐々木紀両事務局次長ら自由民主党観光産業振興議員連盟役員



「復興の狼煙を上げよう」と改めて理解と協力を強く求める星部長。これに「ええ、来賓のみなさんも共に今こそ揺るぎない観光業界の未来を創ってほしい」というエールを送った



大勢の来賓を迎えて行われた定時総会。あいさつする細田、岩屋、武井、佐々木、そして多田、井上の各氏



左=各委員会の事業計画を語る委員長たち。上=県部長サミットで講演する中根、鈴木の両氏

のあいさつに続いて、全旅連からは「折り返しの1年となったが、素晴らしい集大成を迎えることができるよう祈念する」とした多田会長と井上19代青年部長があいさつした。

議事では、令和3年度事業報告、令和3年度一般会計収支報告、監査報告、令和4年度事業計画案、令和4年度一般会計収支予算案のすべてを承認可決した。

各委員会の事業計画は次の通り。

- 【総務委員会】=1.定時総会(4月)・臨時総会(9月)
- 2.全国大会(10月) 3.宿フェス(2月) 4.常任理事会(毎月)・WEBを利用したハイブリッド会議。【財務委員会】=1.財務管理及び各種事業の会計業務 2.協定商社様と財務委員会による意見交換会の継続 3.協定商社様と青年部の交流機会や新たな取り組みの創出 4.各ブロック、各県との連携強化(部員交流) 5.補助金等の全国の部員への情報発信と共有 6.その他。【広報・IT戦略委員会】=1.全旅連青年部・各委員会事業のPR 2.消費者向けPR資料作成と情報発信 3.各広

メディアを活用した効果的なプロモーション手法 「ロコだけが知っている」[NHKワールドJAPAN]

定時総会の終了後、第4回県部長サミットが行われ、「メディアを活用した効果的なプロモーション手法」について研修した。大阪局コンテンツセンター 3部（『歴史探偵』『ロコだけが知っている』『バリバラ』）の統括プロデューサーである中根健氏が『ロコだけが知っている』について、また、NHKの国際放送局国際企画部の鈴木康之氏が「NHKワールドJAPAN 訪日・在留外国人向け提供サービス」について語った。

『ロコだけが知っている』は、2021年9月29日からNHK総合テレビジョンで、司会をサンドウィッチマンが務める毎週水曜日（20:15 - 20:43）に放送されているバラエティー番組。全国47都道府県に放送局を持つNHKの特色を活用した番組であり、地元への愛があふれる人＝ロコを通して各地のお宝情報をNHKの放送網を駆使して全国に発信していく「地元愛さくれつバラエティー」では、「定番じゃないけど、地元の人だけが知っているおススメスポット」「地元の人だけが愛してやまない食べ物」「地元特有のクセやこだわり」「イメージが植え付けられているけど、本当は違う！と訴えたいこと」などが放送内容となっている。

中根氏は「地元を愛するあなただからこそ知っている、とっておき情報を教えてください」と述べ、投稿については、「番組のHPには『あなたの情報をお待ちしています』というバナーがあっ

て、そこから、番組宛に投稿できます。採用されたら、そのネタに沿ったVTRが作られます」と説明した。

鈴木氏は「NHKワールド JAPANの英語チャンネルは、衛星や各国・地域の放送事業者等を通じて世界に向けて、ニュースや番組をとどけている国際NHK放送で、また、訪日・在日外国人の日本への理解を促進することを目的として、国内でもCATV/IPTV/ネット事業者に提供している。衛星から直接受信するか、提供先の事業者からの配信サービスを利用することで、ホテル・旅館客室への導入が可能となっている（NHKワールド JAPANの受信は無料。事業者配信サービスを利用する場合、別途サービス料が必要となる）」と説明。

導入した場合のホテル・旅館にとってのメリットについては、「ほかの英語ニュースチャンネルとは違い、日本とアジアを中心とした、世界の最新ニュースを伝えていることでは『宿泊客へのサービス』となる」、「各地の観光情報だけでなく、文化や産業、食など、地域の魅力を紹介するなど多彩な番組を編成している点では、『リピーターを増やす』に繋がる」そして「大きな自然災害が発生した時には、ニュースを拡大して最新情報を伝え、外国人観光客の不安を解消するという点では『フロントの負担軽減』となる」と述べた。

受信方法は各地の事業者（IPTV事業者、インターネット配信事業者）等のサービスを利用する。事業者へのサービス料等が別途必要となる。

問合せはNHK国際放送局国際企画部の鈴木まで。電話：03-5455-2269。メール：Suzuki.y-he@nhk.or.jp。

報ツール・チャンネルの管理と運用 4. ツール活用マニュアルの作成と共有 5. その他。【組織力向上委員会】=1. NHK 地方支局と各県青年部の連携強化 2. 全国大会開催に向けた実行委員会の運営 3. 各ブロック大会や各県総会での全国大会・宿フェスに関する告知、動員への呼びかけ。【政策委員会】=1. 観議連や自民党青年局の国会議員との意見交換会、「旅館ホテルの未来研究会」の開催 2. 観光庁を筆頭に関係省庁との勉強会・研修会の実施 3. 青年部員へのアンケート調査と47都道府県部長との協働した国への要望活動 4. 宿の地位向上を目的とする政策課題、青年部活動の促進につながる事業の実施 5. 各都道府県青年部へのリアル開催、Zoomによる国の支援事業の情報共有、勉強会の開催 6. 青年経済団体を中心とした他団体との連携 7. 財務委員会との緊密な連携、他委員会との連携。【労務委員会】=1. 各有識者を招いての勉強会・意

見交換会の実施 2. 外国人就労者の受入体制の検討や成功事例の収集及び共有 3. 外国人人材の活用事例動画の有効活用と観光庁との連携 4. 各種デジタルツールを活用した生産性向上事例の収集・共有 5. 異業種との連携 6. 他委員会との連携・情報共有。【流通インバウンド対策委員会】=1. OTA との意見交換会の実施 2. 日本旅館協会EC 戦略・キャッシュレス委員会の参加 3. JNTO主催のフォーラムやその他のインバウンド関連セミナーへの参加 4. ReformBnBフォーラムの参加と開催。【宿の未来開発委員会】=1. 宿フェスの企画及び実施 2. 学生インターンシップ事業の企画及び実施 3. 第六回旅館甲子園の企画及び実施 4. インターナショナルシステムの掲載施設の拡大と露出の強化 5. 他委員会との連携・合同委員会の開催 6. 各ブロック・県総会への参加（全国の青年部員との交流・関係強化）。

全旅連女性経営者の会(JKK)総会開催

「『知恵を出し合うJKK』推し進めよう！」
事業計画に「時流に即した勉強会」など



あいさつする小林佳子会長と来賓の多田会長と星青年部長



開会のあいさつと総会の総括を行う佐藤高橋副会長

吉田、室伏、山田、小井戸の各委員長と監査報告を行う清水監事

リモート操作を担当する全旅連事務局員と室伏広報IT委員長

全旅連女性経営者の会(JKK、小林佳子会長)は令和4年4月14日、令和4年度総会を東京・千代田区の都道府県会館(401会議室)で開催し、2021年度事業報告並びに収支決算報告及び監査報告、2022年度事業計画(案)並びに収支予算(案)、2022年度会費の全議案を承認した。また、平成まちづくり研究所上級顧問の高橋政司氏による、テーマを「環境にやさしいこれからの宿泊業」(撮影等は禁止)、また、参議院議員の片山さつき氏による、テーマを「コロナ後の観光業、宿泊業界」とした講演会を開いた。

小林会長は「この2年間、私たち宿泊業はコロナ禍のなか辛抱に辛抱を重ねてきた。JKKの活動も、定例会議をリアル開催することがなかなか出来ず、苦慮してきたが、会員の皆さまの意欲や向上心は熱く、オンライン定例会議では、多くの会員の参加を得ることができた。今期は、アフターコロナにおける、これからの様々な問題点を克服すべく、女性経営者の視点から、感染症対策誘客、集客、新プラン、新サービス、人材育成、環境保全などを、学んでいきたいと思う。それぞれが知恵を出しあい、女性経営者だから出来る柔軟な宿経営で共存共栄を目指していきたい」と述べ、2022年度事業計画案は、『知恵を出し合うJKK』をスローガンとし、次の6項目を挙げた。

①時流に即した勉強会、国の政策などの情報収集と発信 ②新型コロナウイルス感染防止対策とコロナ禍での経営対策 ③ピンクリボン活動、環境問題への取り組み ④会員増強に努め、会員不在県の解消 ⑤JKKの活動を内外に発信し、存在価値を高める。⑥会員相互の情報交換を活発にして、自社と業界の資質向上を目指す。

また、各委員会の活動方針も示された。佐藤祐子副会長が担当する会務系委員会は次の通り。

【総務・財務委員会】(委員長:吉田絹江、副委員長:奥村純子・石黒三佳)は ①総会・役員会・定例会議の設営及び運営 ②会員への会議報告 ③予算作成と財務管理 ④他委員会との連携・補助 ⑤会員拡



講演を行った片山さつき議員

あいさつする協定商社のみなさん

大、不在県解消。

【広報IT委員会】(委員長:室伏里美、副委員長:田中佐智子・石橋由衣)は ①宿のIT活用法の勉強及びメンバーへの発信 ②HPの更新及び刷新(リニューアル)計画 ③ML管理 ④Facebook(JKK、宿仲間、yadomo)の登録及び情報発信 ⑤JKK情報のアウトプット ⑥JKKリレーコラム(トラベルニュース社)の対応 ⑦定例会議等の映像データ保存 ⑧リモート会議の準備・開催 ⑨ピンクリボン活動の啓蒙 ⑩会員拡大、不在県解消。

高橋美江副会長が担当する事業系委員会は次の通り。

【研修委員会】(委員長:山田佐知、副委員長:河原千晶・沼田弘美)は、①国の施策や情報などを収集し、会員と共有 ②アフターコロナの観光業界の展望を探る(インバウンドを見据えてを含む) ③各委員会と協力して勉強会・懇親会を含む研修会を設営 ④勉強会終了後「まとめ」を作成、MLにて配信 ⑤情報交換の場としての役立つMLの発信 ⑥会員拡大、不在県解消。

【危機管理委員会】(委員長:小井戸文恵、副委員長:須藤佳子・野澤奈央)は ①BCP(事業継続計画)の推進 ②自然災害におけるの対策 ③環境問題の取り組み、地球温暖化対策、廃棄物(プラスチックゴミ等)の問題について ④定例会議後に勉強会のまとめを作成してMLで配信 ⑤会員拡大、不在県解消。

「人に優しい地域の宿づくり賞」第1回選考委員会

エントリーは28件、個人が団体を上回る
対象ジャンルも多岐にわたる内容に



多田あいつす
渡邊の各氏
大木、中村、橋本

全旅連は4月15日、第25回「人に優しい地域の宿づくり賞」の第1回選考委員会（橋本俊哉委員長/立教大学観光学部教授）を全旅連会議室で開催した。コロナ禍の影響を受けて、団体の13件を個人が15件と上回った第25回の28件の応募内容について、事務局よりそれぞれ詳細にわたる説明があり、選考会議では質問や補足説明なども十分に行われた。

このあと、選考委員は各自応募内容の資料を以って、それぞれに5段階評価（5点から1点まで）を行った審査結果表を5月9日までに提出し、5月20日に開催される第2回選考委員会（最終）で厚生労働大臣賞、全旅連会長賞など各賞の受賞者を決定（内定）していく。

選考委員は次の通り。

橋本俊哉（委員長）：立教大学/観光学部教授、工学博士、成松英範：厚生労働省/医薬・生活衛生局生活衛生課課長、関裕之：（株）JTB/仕入商品事業部商品戦略部全社ユニバーサルツーリズム推進担当、井門隆夫：（株）井門観光研究所/代表取締役、村橋克則：大正大学/社会共生学部公共政策学科教授、平塚良成：特定非営利活動法人医療事業再生機構/理事長、森田淳：観光経済新聞社/編集長、西尚子：（株）リクルート/「関東・東北じゃらん」編集長、小熊敦郎：（株）産経新聞社/東京本社広報室長兼広報部長、金澤達也：（株）柴田書店/「月刊ホテル旅館」編集長、永富文彦：楽天グループ（株）/トラベル事業ホテル旅館コンサルティング部ジェネラルマネージャー、大木正治：全旅連副会長・シルバースター登録審査委員長、中村実彦：全旅連副会長・シルバースター登録審査委員、渡邊幾雄：全旅連理事・シルバースター部会長・登録審査委員（全旅連関係委員は採点には携わっていない）。

全旅連青年部が学観連とサポーター協定に調印

全旅連青年部（星永重部長）は4月19日、日本学生観光連盟（学観連14期代表＝佐藤美結花さん・桜美林大学2年生）



調印式の様子

と継続的な協力体制を構築することを目指し12年連続となる「日本学生観光連盟サポーター加盟協定書」の調印式を東京・全国旅館会館にて行い、今後の観光業界を見据えた人材育成、共同事業の立案、合同研修、業界を取り巻く諸問題へ対する準備・対処・研究などの協力関係を継続構築していくための契約を新たにした。学観連は観光を学ぶ学生の交流や大学では学ぶことのできない実践的な活動を通して学生の視点から観光の新たな可能性を見出す学生団体。例年行われる、人材教育の一環として受け入れるインターンシップは「若旦那・若女将 密着体験プロジェクト」として実施している。昨年度は感染状況からなかなか開催に踏み切れず年度末の3月の開催になったことから、3月11日に合わせて岩手県宮古市にて「第10回若旦那・若女将密着体験プロジェクト in 宮古～被災地の今を～」を実施した。

星部長は宿泊産業の地域経済への影響力や文化モデルとしての側面など、産業の担う役割について説明をしつつ、学生との協力に対して期待のコメントを寄せ、佐藤さんは感謝を述べると共に、今後も役員一同レベルアップをしていきたいと熱意を示した。

次回の「若旦那・若女将 密着体験プロジェクト」は2022年9月を予定している。

県民割支援（地域観光事業支援）の期間5月31日まで延長

観光需要喚起策となる地域観光事業支援（県民割）につきましては、全国旅館政治連盟（多田計介理事長）において、期間の延長等の要望を昨年より執り行ってまいりましたが、4月20日、観光庁より、4月28日までとしていた県民割支援の実施期間を5月9日から5月31日宿泊分（6月1日チェックアウト分）まで延長することが発表されました。

県民割支援に関係する感染症対策など参考までに下記URLについてもご参照ください。

観光庁HP 県民割支援（地域観光事業支援（需要創出））の期間延長等について

URL:https://www.mlit.go.jp/kankocho/news12_000001_00004.html

観光庁HP 旅行における感染症対策

URL:<https://www.mlit.go.jp/kankocho/travelitique/index.html>

III 雇用調整助成金の特例措置の延長(令和4年6月末まで)

雇用調整助成金は、事業主が労働者に休業手当等を支払う場合、その一部を助成する制度です。令和4年3月末までの特例措置の期限が6月末まで延長されました。

新型コロナウイルス感染症の影響により経営環境が悪化し、事業活動が縮小している場合、特例措置により助成率及び上限額の引き上げを行っています。

○助成内容・対象の大幅な拡充

- ① 原則的な特例措置：中小企業 4 / 5 (9/10)、大企業 2 / 3 (3/4)

一人一日当たり助成額の上限9,000円

- ② 地域特例、業況特例：中小企業 4 / 5 (10/10)

一人一日当たり助成額の上限15,000円

※原則的な特例措置、地域・業況特例のいずれについても、令和3年1月8日以降の解雇等の有無で適用する助成率を判断括弧()書きの助成率は解雇等を行わない場合

地域特例：緊急事態措置を実施すべき区域、まん延防止等重点措置を実施すべき区域において、都道府県知事による営業時間の短縮等に協力する事業主

業況特例：生産指標が最近3か月の月平均で前年、前々年又は3年前同期比30%以上減少の全国の事業主

○制度の詳細は下記HPをご参照ください。

厚生労働省HP

令和4年4月以降の雇用調整助成金の特例措置等について

URL: https://www.mhlw.go.jp/stf/r404cohotokurei_00001.html

雇用調整助成金

URL: https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/kyufukin/pageL07.html

【お問合せ先】最寄りの都道府県労働局またはハローワークへ

またコールセンターでも雇用調整助成金に関するお問い合わせに対応します。

0120-603-999(受付時間 9:00 ~ 21:00(土日・祝日含む))

省庁便り

融資期間の延長、実質無利子・無担保融資、危機対応融資の6月末まで継続。 日本公庫の資本金劣後ローンの来年度末まで継続。中小企業活性化パッケージ

3月4日に実質無利子・無担保融資、危機対応融資の6月末まで継続などの中小企業活性化パッケージが発表された。融資等に関わる制度の概要は以下の通り(6頁に続く)。

II 政府系金融機関による実質無利子・無担保融資の継続等

- 新型コロナウイルス感染症の影響を受けて業況が悪化している事業者に対する実質無利子・無担保融資、危機対応融資(*)を、融資期間を15年から20年に延長した上で期限を6月末まで延長。

(*) 商工中金と日本政策投資銀行による融資・資本金劣後ローン。

政府系金融機関による実質無利子・無担保融資の概要

日本政策金融公庫(国民生活事業)

日本政策金融公庫(中小事業)

商工中金(危機対応融資)

新型コロナウイルス感染症の影響により、最近1ヶ月間の売上高が前4年のいずれかの年の同期と比較して一定程度減少すること

- ① ▲5%であれば、低利融資 当初3年間：基準利率▲0.9%、4年目以降：基準利率

※中小事業・危機対応：1.07%→0.17%、国民事業：1.22%→0.32%

※2022年3月1日時点、貸付期間5年、信用力や担保の有無にかかわらず一律

- ② さらに以下の要件を満たせば、利子補給を通じて当初3年間、実質無利子・無担保融資

小規模の個人事業主：▲5% 小規模の法人：▲15% その他：▲20%

設備資金20年以内、運転資金20年以内(据置期間は最大5年)

6000万円(実質無利子)
8000万円(融資枠)

3億円(実質無利子)
6億円(融資枠)

3億円(実質無利子)
6億円(融資枠)

2022年3月末まで ⇒ 2022年6月末まで継続

(注) 沖縄振興開発金融公庫においても同様の措置を実施

■ 新型コロナ対策資本金劣後ローン(日本政策金融公庫)の継続

● 事業の成長・継続等を支援するため、民間金融機関が自己資本とみなすことができる日本政策金融公庫の資本金劣後ローン(最大20年元本据置、上限額10億)を来年度末まで継続。

日本政策金融公庫「新型コロナ対策資本金劣後ローン」の概要

融資対象	新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者であって、以下のいずれかに該当する者 ① J-Startupに選定された事業者、又は中小機構が出資する投資ファンドから出資を受けた事業者 ② 中小再生支援協議会(4月1日に「中小企業活性化協議会」に改組)の関与のもとで事業の再生を行う事業者、又は中小機構が出資する投資ファンドの関与のもとで事業の再生を行う事業者 ③ 事業計画を策定し、民間金融機関等による協調支援体制が構築 ^(*) されている事業者 ^(*) <small>(*) 原則として融資後概ね1年以内に民間金融機関等から出資又は融資による資金調達が見込まれること (*) 民間金融機関等からの協調支援を希望しない場合等においては、認定支援機関の支援を受けて事業計画を策定していれば対象</small>
融資限度額	【中小事業】1社あたり10億円(別枠) 【国民生活事業】1社あたり7,200万円(別枠)
融資期間	20年・15年・10年・7年・5年1か月(期限一括償還) <small>(*) 原則として融資後5年間は期限前弁済なし</small>
貸付利率	融資後当初3年間は一律0.5%、4年目以降は直近決算の業績に応じた利率 ^(*) を適用 <small>(*) 直近決算の業況に応じて、毎年適用利率の見直しを実施。</small>
担保・保証人	無担保・無保証人
資本金の扱い	金融機関の債務者の評価において自己資本とみなすことが可能 ^(*) <small>(*) 償還期限の5年前までは残高の100%を資本とみなすことが可能。5年未満からは1年毎に20%ずつ資本とみなせる額が減少。</small>
その他	本制度による債務は、法的倒産時には全ての債務 ^(*) に劣後 <small>(*) 償還順位が同等以下とされているものを除く。</small>

注) 沖縄振興開発金融公庫においても同様の措置を実施

日本政策金融公庫HP(新型コロナ対策資本金劣後ローン)

URL:https://www.jfc.go.jp/n/finance/search/shihonseiretsugo_m.html

日本政策金融公庫 <平日> 0120-154-505 <休日> 0120-112-476(国民)、0120-327-790(中小)

商工中金 <平日・休日> 0120-542-711

省庁便り

農林水産省・厚生労働省

有毒植物の食中毒防止

食用の野草と確実に判断できない植物は、絶対に、採らない! 食べない! 売らない! 人にあげない!

例年春先から初夏にかけて有毒植物の食中毒の発生が多くなります。山菜狩りなどで誤って有毒な野草を採取し、食べたことにより、食中毒が発生しています。有毒植物による食中毒で、死者も発生しています。直売所等に持ち込む採取者はもちろんのこと、受け取り側の食品関連事業者においても有毒植物ではないか確認を行うことが大切です。

農林水産省や厚生労働省のHPにおいても注意喚起を行っております。ご確認ください。

<農林水産省ウェブサイト>

○ 知らない野草・山菜は採らない・食べない!

https://www.maff.go.jp/j/syouan/nouan/rinsanbutsu/natural_toxins.html

<厚生労働省ウェブサイト>

○ 有毒植物による食中毒に注意しましょう

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/yuudoku/index.html

全旅連会議開催

【4月】

13日(水)

- 全旅連青年部第54回定時総会
於：全国町村会館(東京都千代田区)

14日(木)

- 全旅連女性経営者の会(JKK)令和4年度総会
於：都道府県会館(東京都千代田区)

15日(金)

- 第25回「人に優しい地域の宿づくり賞」選考委員会(第1回)

26日(火)

- 全旅連ポストコロナ調査研究委員会

27日(水)

- 全国旅館ホテル事業協同組合監査会
- 全旅連監査会

——— 今後の予定 ———

5月11日(水)

- 全旅連正副会長会議

5月20日(金)

- 第25回「人に優しい地域の宿づくり賞」選考委員会(第2回)

6月14日(火)

- 令和4年度全旅連理事会
- 令和4年度全旅連通常総会
- 全国旅館ホテル事業協同組合第22回通常総代会
於：都道府県会館(東京都千代田区)

※9月13日(火) 第100回全旅連全国大会 in 東京

お悔み

令和4年4月20日、宮村耕資理事(高知県組合副理事長)がご逝去されました。19年間の永きに亘り全旅連理事として活躍されました。深く哀悼の意を表しますとともに、ここに謹んでお知らせいたします。

経営ワンポイントアドバイス

「まんすりー」経営改善講座

渡邊 清一郎

「四信」

社会人になりたての男性数人と食事をしながら語り合う機会があった。「社会人として忘れてはならないことは何だろう」「仕事(商売)を行ううえで心すべきこととは」などの真面目な話も飛び出して楽しい時間が過ぎてゆく。やはり、四つの「信」は当たり前だという一つの結論を得ることができた。

「信用」

確かなものと信じて受け入れること。過去の行為や業績などから信じられると判断すること。そのうえで世間的な評価。

嘘や偽りのない言葉や行動が相手が求めることと一致した結果、信用が築かれるということ。実績や成果に対する評価から生まれる。その人よりもその人の実績に重きを置く。信頼より信用のほうが客観的。

「信頼」

信じて頼りにすること。頼りになると信じること。そのような心持。相手の嘘や偽りのない言葉や行動をあてにして信頼する。その人の考え方や人柄、行動の仕方などを評価する。

信用より信頼のほうが主観的。

「信念」

物事を正しいと信じて疑わない自分の気持ち。この気持ちはとても強く簡単に揺らぐことはない。また、信念を貫く言葉や行動は信じるという心を伴う行為で一貫性があり、場合によって人を寄せ付けないような強さがある。

「信義」

他人のために尽くそうという純粋な気持ちや偽りや飾りのない心をもって約束を守り、相手に対する務めを果たすこと。

法学部の学生らしい発言から、「信義誠実」とは、社会共同生活の一員として互いに相手の信頼を裏切らないように誠意をもって行動すること。そして、この原則に反して権利を行使しても、効果は生じず、また、義務の履行がこの原則に反していた場合は、義務の履行がなかったことになる。

「私の若い頃よりよほどしっかりしているなあ」とは、嘘偽りのない気持ちです。

質問・相談は

sero-1117@giga.ocn.ne.jp 携帯(090-3322-7208)

または、全旅連事務局(03-3263-4428)までどうぞ。

腸内細菌検査、ノロウイルス検査 旅館・ホテル組合員特別価格のご案内

	腸内細菌検査(検便)	ノロウイルス検査
検査項目・方法	サルモネラ菌、腸チフス菌、パラチフスA菌、赤痢菌、腸管出血性大腸菌O-157	RT-PCR法による遺伝子増幅法検査
報告日数	3～5営業日	1～3営業日
料金	※組合員特別価格 300円/1検体(税別)	※組合員特別価格 検査料金 2,950円/1検体(税別) 検査容器代 50円/1検体(税別)
備考	検体送料は、定期的実施分は弊社で負担いたします。追加実施分は、お客様でご負担願います。	検体送料は、お客様でご負担願います。(宅配便クール冷蔵指定)

検査申込書ダウンロード 全旅連公式HP「宿ネット」組合員専用ページ
<http://www.yadonet.ne.jp/info/member/>

お申込・お問合せ JFE東日本ジーエス株式会社 食品衛生調査センター
TEL:044-328-2788 FAX:044-333-1655
<http://www.eisei-chosa.com/>

安心・真心・優しさで選ばれる宿になりませんか

シルバスター登録制度は、急速に進んでいる日本の高齢化社会に対応するため、業界から自主的に起こった制度です。年々、高齢者人口が増加し、高齢者の宿泊施設へのニーズが高まることは当然であり、全旅連ではそうしたニーズに十分対応できる旅館・ホテルを数多く整備する事が業界全体の発展につながると考えています。

シルバスター登録制度がスタートし平成5年9月の第一号店誕生から、今では北海道から沖縄まで全国の施設が登録を受け、「優しい心」を示すマークを掲げています。

全旅連では、シルバスター登録制度を広く内外への周知を図るとともに、厚生労働省の協力を受けながら推進しています。

ぜひシルバスターにご登録いただき、ハード・ソフト両面の整備と充足にお役立てください。

◎しおりは、各都道府県旅館ホテル生活衛生同業組合までご請求ください。

◎お問い合わせは、全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会まで。



全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会

〒102-0093 東京都千代田区平河町2丁目5番5号全国旅館会館4階
TEL:03-3263-4428 fax.03-3263-9789 URL:<http://www.yadonet.ne.jp/>

全旅連協定商社会名簿

協 賛	(株) トランスネット	ホテル旅館向け各種インターネットソリューション販売	〒101-0024 東京都千代田区神田和泉町1-3-1 三恵ビル8F 営業企画部 廣重 隆	TEL 03-6891-7200 FAX 03-6686-1039
	ソニー生命保険(株)	生命保険コンサルティング他	〒100-0004 東京都千代田区大手町1-7-2 東京サンケイビル31F 東京中央LPC第3支社部長 中野秀嗣	TEL 03-4334-5203 FAX 03-4334-5213
	あいおいニッセイ同和損害保険(株)	損害保険	〒150-8488 東京都渋谷区恵比寿1-28-1 マーケット開発部 市場開発室 谷 賢治	TEL 03-5789-6354 FAX 03-5789-6449
	(株) 丸八真綿	丸八真綿寝具販売他	〒465-0045 愛知県名古屋市長区姫若町25 第一営業部 玉木信安	TEL 052-701-3386 FAX 052-703-1424
	(株) リクルート	旅行雑誌じゃらん、じゃらん.net等	〒100-6640 東京都千代田区丸の内1-9-2 グラントウキョウサウスタワー 旅行営業統括部 営業推進部 営業企画グループ 酒井宏明	TEL 03-6835-6240 FAX 03-6834-8784
	(株) セラミックテクノロジー	客室木部白木再生、各種浴場等の各種再生	〒414-0055 静岡県伊東市岡1274-9 松坂博行	TEL 0557-48-6026 FAX 0557-38-6557
	ミサワホーム(株)	旅館ホテル客室等のリフォーム・新築	〒163-0833 東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル 法人営業部 法人推進課 五十嵐忠勝	TEL 03-3349-8044 FAX 03-4570-5668
	(株) 第一興商	カラオケ機器(DAM)音響・映像関連機器	〒141-8701 東京都品川区北品川5-5-26 営業統括本部 特販営業部 営業2課 関口雅弘	TEL 03-3280-6821 FAX 03-3280-0862
	(株) コジマ	家電製品全般	〒171-0022 東京都豊島区南池袋2-49-7 池袋パークビル5階 営業本部営業部 法人営業室 主任 原 智一	TEL 03-6907-3116 FAX 03-6907-2996
	東京海上日動火災保険(株)	旅館賠償責任保険	〒100-0004 東京都千代田区大手町1-5-1 大手町ファーストスクエアWEST9階 旅行業営業部 営業第一課 副主任 佐々木可菜	TEL 03-5537-3491 FAX 03-5537-3471
	AIG 損害保険(株)	組合員向各種損害保険	〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-3-20 神谷町MTビル6F ディストリビューション部門 大平美菜子	TEL 03-6848-8835 FAX 03-6689-2025
	楽天グループ(株)	予約サイト楽天トラベル等	〒158-0094 東京都世田谷区玉川1-14-1 楽天クリムゾンハウス トラベル事業 ホテル旅館コンサルティング部 ジェネラルマネージャー 永富文彦	TEL 050-5817-3369 FAX 03-6670-5253
	(株) 宿研	web集客コンサルティング	〒220-8120 神奈川県横浜市西区みなとみらい2-2-1 横浜ランドマークタワー20F 新規営業本部 営業推進室 統括マネージャー 北園勇人	TEL 045-227-6505 FAX 045-227-6507
	(株) シーナッツ	予約・販売管理システムTL-リンカーン	〒108-0023 東京都港区芝浦3-12-7 住友不動産田町ビル4階 システムソリューション本部 営業G 宮崎恵利香	TEL 03-6835-8420 FAX 03-5476-8898
	(株) JTB(るるぶトラベル)	宿泊予約サイトるるぶトラベル	〒140-8602 東京都品川区東品川2-3-11 JTBビル15階 Web販売部 戦略担当部長 伊藤 清	TEL 03-5796-5666 FAX 03-5796-5986
	ヤフー(株)	「Yahoo!トラベル」による集客支援提案	〒102-8282 東京都千代田区紀尾井町1-3 東京ガーデンテラス紀尾井町 紀尾井タワ トラベル統括本部 営業部 小林孝志	TEL 03-6898-2393 FAX 03-6685-0800
	(株) ネクシィーズ	LED照明、業務用冷蔵庫、空調などの省エネ商材のレンタル事業	〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町20-4 ネクシィーズスクエアビル 業務本部 営業企画課 佐々木 龍	TEL 03-6415-1210 FAX 03-3770-2307
	(株) Trip.com International Travel Japan	中国インバウンド予約サイト「Ctrip」	〒100-0004 東京都千代田区大手町2-6-2 日本ビル9階 ホテル事業部 翟 峰(サイ ホウ)	TEL 03-6373-0811 FAX 03-6262-7667
	日本テクノ(株)	高圧電気設備保安管理・点検電気料金削減コンサルタント	〒163-0651 東京都新宿区西新宿1-25-1 新宿センタービル51階 営業推進部 MC・東日本営業課 課長 相川 淳	TEL 03-5909-5389 FAX 03-5909-5379
	(株) パラダイムシフト	オールインワン業務支援ソフト「レップチェッカー」	〒103-0004 東京都中央区東日本橋1-3-6 パラダイムシフトビル 営業部 部長 古瀬路里	TEL 03-5825-9970 FAX 03-5825-9971
	住友林業(株)	旅館・ホテルリフォーム新築、造園	〒100-8270 東京都千代田区大手町1-3-2 経団連会館 住宅・建築事業本部 市場開発部 副部長 杉本貴一	TEL 03-3214-3860 FAX 03-3214-3861
	(株) ミツウロコヴェッセル	高圧電気、動力(低圧)電気、従量電灯電気の販売	〒104-0031 東京都中央区京橋3-1-1 東京スクエアガーデン 電力・都市ガス営業部 課長 石井万正	TEL 03-3275-6316 FAX 03-3275-6354
	(株) かんざし	OTAプラン作成等一括管理「かんざしクラウド」 OTA「ちこみ」一括管理「ちこみクラウド」	〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-2-6 丸元ビル 3F セールス本部 宿泊セールsteam チーフマネージャー 神山真一郎	TEL 03-6261-7447 FAX 03-6261-7448
	(株) 三洋	寝具(掛け布団・マットレス)のレンタル	〒150-0021 東京都渋谷区恵比寿西2-8-10 ORIX恵比寿西ビル3F コンフォートグリーン事業部 営業主任 山本宜央	TEL 03-5459-2330 FAX 03-5459-2340
(株) ショウエイ	浴場用ろ過装置と省エネシステムおよび見える化	〒212-0032 神奈川県川崎市幸区新川崎2-6 営業1課 課長 長谷川秀法	TEL 044-589-1601 FAX 044-589-1602	
大建工業(株)	機械すきと紙材の量	〒101-8950 東京都千代田区外神田3-12-8 住友不動産秋葉原ビル 量材部 得永昭弘	TEL 03-6271-7791 FAX 03-5296-4064	
HRソリューションズ(株)	求人情報掲載サイト「旅館ホテルでおしごと.net」	〒103-0023 東京都中央区日本橋3-10-5 オンワードパークビルディング10F 顧客価値創造本部 カスタマーサクセス推進部 桜庭悠斗	TEL 03-3548-8212 FAX 03-3548-8864	
(株) ダイブ	旅館・ホテル向け人材サービス「リゾートバイトダイブ」	〒160-0022 東京都新宿区新宿2-8-1 新宿セブンビル10F リゾート人材サービス 東日本エリア マネージャー 馬場真悟	TEL 03-5657-3030 FAX 03-5657-3031	
(株) クリップス	Web予約サイトコントローラー「わっばん++」 Web販売支援サービス	〒950-0915 新潟県新潟市中央区鏡石2-29-15 ピュアコートベル3F WEBサポート事業部 金子 悟	TEL 025-290-5540 FAX 025-241-7836	
(株) ヤギ	空間除菌消臭エアマット、オーガニック繊維によるタオル等	〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町18-15 マテリアル事業本部 第三事業部 311課 販売課長 上村 秀	TEL 03-3667-4410 FAX 03-3667-4471	
(株) ASK	スカパー!法人向有料放送契約およびIPによる外国語放送の契約	〒190-0023 東京都立川市柴崎町3-8-5 NXビル4F 営業部 主任 成田篤志	TEL 042-523-4649 FAX 050-3728-5505	
推 奨	三菱電機ビルテクノサービス(株)	エレベーター設備・管理	〒116-0002 東京都荒川区荒川7-19-1 首都圏第一支社 業務部 参事 正村宗一郎	TEL 03-3803-7319 FAX 03-3803-5234
	(株) フジ医療器	マッサージチェア	〒108-0023 東京都港区芝浦3-2-16 田町イーストビル1F 商経営業部 企業担当ユニット 鈴木哲治	TEL 03-3769-6600 FAX 03-3769-6601
	(株) エス・ワイ・エス	自社HP予約エンジン「OPTIMA」	〒107-0062 東京都港区南青山5-10-2 第2丸耀ビル3F 新名俊一郎	TEL 03-3486-1070 FAX 03-3486-1071